

3 教室に設置されたLANを利用して資料検索・発表できることを目指した授業展開例

教科(科目)	公民(現代社会)	単元名	現代に生きる私たちの課題
本時の主題	豊かな生活と社会福祉(1時間目/3時間)		
本時の目標	(1) 豊かな生活とはどんなものかの学習について、直感的なイメージによる表現を通して、意欲をもって取り組むことができる。【関心・意欲・態度】 (2) 豊かさとは何かの意味を考えることによって人生において大事にすべき価値観などを意識して深く考えることができる。【思考・判断】 (3) ホームページのより効果的な検索方法などを身につけることができる。【技能・表現】		
指導・内容のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
自分にとっての豊かな生活をイメージしてみる。 10分	あなたにとって、豊かな生活とはどんな生活ですか？ イメージしてみましょう。 予想される生徒の意見 ・ お金が不自由なくあること。 ・ 遊んで暮らせること。 ・ 欲しいものに囲まれて生活できること。 ・ 毎日楽しく学校生活が送れること。 ・ 自分だけでなく、みんなが幸せに生活できること。 それでは あなたは今豊かな生活を送ることができていますか？ 予想される生徒の答え はい・・・ほとんどなし。 いいえ・・・大半の者。	「豊かさ」の意味にはこだわらないで、自分にとっての豊かな生活をイメージさせる。 大半が物質的な豊かさがあるか否かを基準に考えると思われる。【関】 <評価方法> プリントに豊かな生活を書かせ、発表させることで、考えを把握する。 「氏名カード」を用いて黒板に貼付。学習プリントに結果を記録させる。	
「豊かな」ということの意味を考えてみる。 35分	なぜ、みんなが「いいえ」なのかを考えてみよう。 <3～4人グループで意見交換> 予想されるグループでの意見 ・ 欲しい物が買えないから。 ・ 学校も楽しくない。 ・ 自分の家庭をみても決して裕福とは言えないから。 ・ 外国に比べて家も小さく、家賃なども高いと聞いた。 ・ 徐々に ・ 働く人の労働時間も長いということを聞いた。 ・ 精神的に満たされなくて、「癒し」がブームになっているようでは豊かとは言えない。 ・ 特に不自由はしていないが、そんなに住みやすい社会とは言えないような気がする。 「はい」と答えた人たちの意見も聞いてみよう ・ 単純に比較できないかもしれないが、世界には様々な問題で困っている人たちがいるので、それと比べればよい。 ・ 私自身は特に困っていないが、日本も、高齢者や障害を持った人などが生活しやすい社会とは言えないような気がする。	最初は、高校生である自分が物質的な豊かさを享受していないことで「いいえ」であったのが、いろいろ考えてみると物の点でも、それ以外でも豊かとは言えない点がたくさんあるのではという意見が出てくるように思われる。 【思】 <評価方法> 思考の変化をプリントにまとめ、グループ内で自己確認する。 それぞれの意見は紙に書いて黒板に貼り付ける。 新学習指導要領では「豊かな生活」から「社会福祉」のあり方を考えるようになっているが、それが自然に出てくるように心がけ、無理に「社会福祉」に結びつけないようにした。	

指導のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
<p>的確に必要なとする資料を探し出すことができる。</p> <p>4 5 分</p>	<p>「豊かなこと」「豊かでないこと」を示すことができる資料をインターネットから検索してみよう。</p> <p>その前に</p> <p>検索するときのキーワードを考えてみよう。</p> <p>グループで考えた予想されるキーワード</p> <p>お金 遊び 仕事 教育 住まい 友達</p> <p>癒し系 福祉 政府 厚生労働省 文部科学省</p> <p>総務省 各市町村 文化 医療 豊かさ</p>	<p>黒板には、先ほどの意見が紙に書いて張ってあるので、それを参考にしてキーワードを考えることができる。</p> <p>【技】</p> <p><評価方法> 次回、自分たちが探そうと考える資料を授業時間内に見つけたことができるかを確認</p>
<p>次回の授業展開のイメージをつかむ。</p> <p>5 0 分</p>	<p>2グループだけ5分間の制限時間で検索してみる</p>	<p>他のグループはテレビ画面で検索の様子を確認できる。</p>

2 時間目の授業展開

目標：インターネットを用いたより効果的な情報収集の方法を身につけ、視聴覚機器を利用して、自分の意見を表現する。
【関心・意欲・態度】【技能・表現】

1. クラスに設置した2台のパソコンをグループごとに5分間ずつ使用。
2. 検索して見つけたホームページ(資料)をパソコンに保存。
3. 検索を行っていない班は、次回発表用の考えをまとめる。
発表の基本はホームページ資料としたが、本などの資料でも良いことにして、図書館でも資料収集させる。
4. 1グループの検索時間は5分。2台あるので1グループ2回使用できる。
授業時間内でできなかったグループは休み時間や放課後を利用する。

3 時間目の授業展開

目標：「豊かさ」の本当の意味を考え、人生にとって何が大切なのかを考え、社会福祉など、制度の充実が必要などに気付く。

1. ホームページで検索した資料、図書館で収集した資料をテレビモニターに映し出し、それをもとに意見を発表する。
2. 自分たちの発表や他のグループの意見を参考にして、「豊かさ」について考えると同時に、発表の内容について自己評価、他のグループ評価をする。

授業風景

生徒の意見を氏名カードで貼付
誰がどんな考えなのかを、みんなが確認できる。



グループ内の意見を黒板に添付。
サーチエンジンで検索するときの参考に
する。



L A Nを利用した教室内での検索風景



他のグループが検索したホームページをテレビモニターで確認

